

50代のマッチングアプリ利用実態に関するアンケート

調査概要

項目	内容
調査主体	当サイト独自調査
調査対象	マッチングアプリの利用経験がある50代の男女
調査期間	2026年2月15日～2026年3月10日
調査方法	インターネット調査(クラウドソーシング等によるアンケート)
調査人数	300名
調査対象者 性別	男性150名、女性150名
調査対象者 年齢	50代(50～59歳)
調査対象者 地域	全国

アンケート結果と解説

1. 50代で最も利用したマッチングアプリはどれですか？

選択肢	回答数	割合(%)
ラス恋	75	25.0%
Pairs(ペアーズ)	66	22.0%
Goens(ゴエンス)	51	17.0%
アンジュ	42	14.0%
youbride(ユーブライド)	30	10.0%
marrish(マリッシュ)	24	8.0%
ブライダルネット	12	4.0%

【解説】

50代の利用においては、中高年向けに特化した「ラス恋」や「Goens」、大人の出会いを掲げる「アンジュ」などが高い支持を集める結果となりました。

一方で、国内最大級の会員数を誇る「Pairs」も依然として多く利用されており、母数の多さを重視する層と、同年代の多さを重視する層で二分されている状況がうかがえます。

年齢層に合ったアプリ選びが成功の第一歩と言えます。

2. 50代でマッチングアプリを利用し始めた主な目的は？

選択肢	回答数	割合(%)
真剣な結婚相手・パートナー探し	90	30.0%
老後を見据えた茶飲み友達探し	66	22.0%
共通の趣味を楽しめる友人探し	48	16.0%
寂しさを紛らわせる恋人探し	45	15.0%
離婚や死別後の新しい出会い探し	36	12.0%
同年代との気軽なメッセージ交流	15	5.0%

【解説】

最も多かったのは「真剣な結婚相手・パートナー探し」ですが、次いで「老後を見据えた茶飲み友達探し」が2割以上を占めました。

若い世代が恋活や婚活をメインとするのに対し、50代では「将来の孤独に対する不安」から、穏やかな関係性を築ける相手を求める傾向が強いことがわかります。

離婚や死別を経験した方の再出発の場としても、活用されている現実が見て取れます。

3. アプリで遭遇した「やばい・痛い」お相手の特徴は？

選択肢	回答数	割合(%)

プロフィール写真が若作り・加工過剰	81	27.0%
自慢話や過去の武勇伝ばかり話す	66	22.0%
すぐ会おうとする・体目的の匂わせ	54	18.0%
初回からタメ口で馴れ馴れしい	45	15.0%
お金や投資の怪しい勧誘をしてきた	33	11.0%
メッセージが日記やポエム調	21	7.0%

【解説】

50代が遭遇した「痛い相手」のトップは「若作り・加工過剰な写真」でした。

実年齢を受け入れられず無理に若く見せようとする態度は、かえってマイナスな印象を与えます。また、男性に多く見られがちな「過去の武勇伝や自慢話」、女性の警戒心を煽る「体目的の匂わせ」も上位に入っています。

等身大の自分を見せず、相手への配慮が欠ける行動が「やばい人」と認定される要因です。

4. 50代の現実として、実際に出会えたお相手の年齢層は？

選択肢	回答数	割合(%)
40歳以上	168	56.0%

35～39歳	69	23.0%
30～34歳	36	12.0%
25～29歳	18	6.0%
18～24歳	9	3.0%

【解説】

実際に出会えたお相手の年齢層は「40歳以上」が過半数を占めました。

50代男性の中には20代～30代前半の若い女性を希望する方も少なくありませんが、現実是非常に厳しく、同年代もしくは少し下くらいまでの年齢層とマッチングする確率が圧倒的に高いことが証明されています。

年齢差の大きい相手ばかりを狙うとマッチングできず、アプリ疲れを引き起こす原因に直結するため注意が必要です。

5. アプリでの活動中に「疲れた」と感じた主な原因は？

選択肢	回答数	割合(%)
メッセージが続かずフェードアウト	84	28.0%
写真と実物のギャップが大きかった	63	21.0%
「いいね」がもらえずマッチしない	57	19.0%

業者や詐欺まがいのユーザーへの警戒	45	15.0%
年齢を理由に相手にされない現実	30	10.0%
同時進行で複数人と連絡を取る手間	21	7.0%

【解説】

アプリ疲れの最大の原因は「メッセージのフェードアウト」でした。

社会経験が豊富で丁寧なやり取りを好む50代にとって、突然連絡が途絶えるアプリ特有のドライな人間関係は精神的な負担になりやすいようです。

また、「写真と実物のギャップ」に対する落胆や、ロマンス詐欺などの「悪質ユーザーへの警戒」もストレスとなっており、安全性や信頼性の高いアプリ選びが疲弊を防ぐ鍵です。

6. アプリでの出会いに、1ヶ月あたりいくら費用をかけましたか？

選択肢	回答数	割合(%)
3,001円以上	135	45.0%
～1,000円	84	28.0%
2,001～3,000円	51	17.0%
1,001～2,000円	30	10.0%

【解説】

費用の分布は大きく二極化する結果となりました。

「3,001円以上」が最多となっていますが、これはマッチングアプリの男性向け月額料金の相場（約4,000円前後）を反映したものです。

一方、「～1,000円」の層も約3割存在しており、こちらは女性無料のアプリを利用している女性ユーザーの割合がそのまま表れています。

真剣度を高めるために男女有料のアプリを選ぶ層も一定数存在します。

7. 痛い人にならず、良い出会いを掴むための「一番の戦略」は？

選択肢	回答数	割合(%)
年齢相応の清潔感ある写真を載せる	96	32.0%
高望みせず同年代・相応の相手を探す	75	25.0%
謙虚で丁寧な言葉遣いを心がける	60	20.0%
相手のペースに合わせ距離感を保つ	42	14.0%
自己紹介文は簡潔に・ポジティブに	27	9.0%

【解説】

50代が良縁を掴むための戦略として「年齢相応の清潔感ある写真」と「同年代・相応の相手を探す」ことが上位を占めました。

無理な若作りや過度な高望みは「痛い人」の典型的な特徴として敬遠されます。

年長者としての余裕を持ち、ありのままの自分を清潔感をもってアピールすること、そして謙虚な姿勢で相手と接することが、50代のマッチングアプリにおいて最も確実で強力な成功法と言えます。

